

肝付木材事業協同組合講演会が開催されました !

2月12日 高山やぶさめ館で「県産材の需要拡大と循環型社会への対応について」という講演会がありました。初めに九州森林管理局 地域木材情報分析官から毎年8000万^mの蓄積増がある。今後地域に応じた森林育成が必要であり、森林の多面的機能の発揮とともに林産物の供給と利用を進めるとの話だった。木質バイオマスが全国的にも多数計画されており、集材競争が起きるかもしれない。木材輸出も順調に増えている。木材価格は昨年未高騰したが、昭和55年と比較するとまだ安い。今後の価格動向は予測できない。

次にかごしま材振興課技術補佐は県内の森林は毎年250万^m増加をしている。10年後の100万^mの生産、自給率50%以上を目指す為、かごしま材の利用拡大を図っていく。

最後に岐阜県加子母村の榊中島工務店の社長の「完結型林業を目指して」様々な取り組みの紹介があった。東濃桧や長良すぎでつくる住まいは原木の付加価値を高める為に集成材製造やプラット加工まで行い、建具や家具等も地元の工場で加工し、地元の大工さんたちが出かけて建てる、70万/坪以上の住宅や、寺社仏閣を手掛けている。また、いろいろなイベントを企画し、加子母ファンを増やすと共に、若者がUターンしてくるような街づくりをしているということだった。一度は訪れたいと思わせるような楽しい話でした。

木材利用ポイント事業が延長されました !

25年度補正予算で150億円が追加され、事業延長が決定しました。(総予算560億円) 工事着手期間がH26.9.30まで延長され、それに伴いポイント発行受付はH27.1.31までとなりました。また対象地域材にバイオマスが追加されH26.4.1からは申請できるようになります。構造用合板に加えCLT等、建築基準法に基づく指定性能評価機関に認定された壁倍率や床倍率を確保した材も対象となります。また内装外装工事に天井も追加されました。なお、2月20日現在のポイント実施状況はおよそ65億ポイントです。まだまだ余裕はあります。大いに活用しましょう。

【情報】

「近隣クレーム対処術」セミナーがあります

日時 平成26年3月25日(火) AM10:00~12:00

場所 目黒雅叙園 (東京・目黒)

講師 富田 豊氏 TMI 総合法律事務所
佐々木善樹氏 佐々木建築研究室

主催 日経アーキテクチュア

受講料 15,000円

申込先 下記ホームページへ(定員まで先着順)

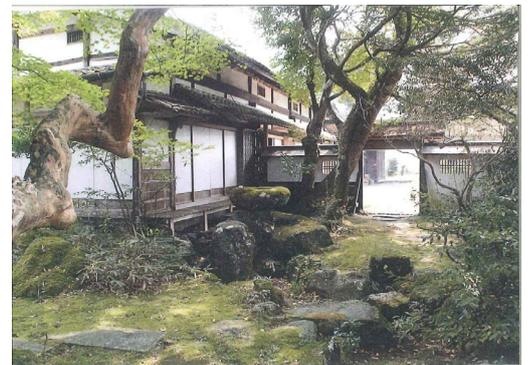
<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/NA/cp/20202/>

【定休日】

3月は2,8,9,15,16,22,23,30日となります

4月は5,6,12,13,19,20,26,27日となります

宜しくお願いします。



江戸時代木曾桧などの山守をした内木家